

豊田工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	総合英語 I	
科目基礎情報							
科目番号	90011			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電子機械工学専攻E			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	必要に応じてプリント配布						
担当教員	市川 裕理						
到達目標							
(ア)様々な話題について書かれた英文を読み、関連する語彙や語法を理解し、使用することができる。 (イ)様々な話題について、英語によるディスカッションを行い、自分の意見を深めたり、意見交換をすることができる。 (ウ)英語による効果的なプレゼンテーションを行うための知識・技能を習得する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目(ア)	様々な話題について書かれた英文を読み、関連する語彙や語法を理解し、使用することができる。			様々な話題について書かれた英文を読み、関連する語彙や語法を教員の助言を参考にしながら理解し、使用することができる。		様々な話題について書かれた英文を読み、関連する語彙や語法を理解し、使用することができない。	
評価項目(イ)	様々な話題について、英語によるディスカッションを行い、自分の意見を深めたり、意見交換をすることができる。			様々な話題について、教員の助言を参考にしながら英語によるディスカッションを行い、自分の意見を深めたり、意見交換をすることができる。		様々な話題について、英語によるディスカッションを行い、自分の意見を深めたり、意見交換をすることができない。	
評価項目(ウ)	英語による効果的なプレゼンテーションを行うための知識・技能を習得する。			英語による効果的なプレゼンテーションを行うための知識・技能を教員の助言を参考にしながら習得する。		英語による効果的なプレゼンテーションを行うための知識・技能を習得できない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 D4 基本語彙からなる英文を、日本語を介することなく読み、大意を把握できる。 学習・教育到達度目標 E4 日本と国外の文化の差異を認識している。 JABEE f 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力 JABEE g 自主的、継続的に学習する能力 本校教育目標 ④ コミュニケーション能力							
教育方法等							
概要	様々な話題について、学んだことや経験したことに基づき、自分の意見や感想を英語を用いて表現し、意見交換できるようにすることを目標とする。さらに、英語を学ぶことを通じて、多様なものの見方や考え方を理解することで、思考力を養う。						
授業の進め方・方法	教科書の内容理解を行った上(introduction)で、英語によるやりとり(interaction)と発表(presentation)を行い、英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。授業は基本的に、調べ学習・意見交換・発表(個人またはグループ)の流れで行う。						
注意点	英和辞典(紙または電子辞書)を持参すること。授業内容について、各ユニットの課題に取り組み、発表にあたっては、各自練習をした上で臨むこと。また、質疑応答、意見交換を行う際には、積極的に自分の考えを述べること。テーマについてはSDGsに関連するものを中心に扱う。						
選択必修の種別・旧カリ科目名							
規制技術に含まれるものはない							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、テーマ①に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。		授業目標を理解する。自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion)		
		2週	テーマ①に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。		自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion)		
		3週	テーマ①に関するプレゼンテーション(自学自習内容) 発表原稿作成、練習する。		評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。		
		4週	テーマ②に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。		自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion)		
		5週	テーマ②に関するプレゼンテーション(自学自習内容) 発表原稿作成、練習する。		評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。		
		6週	テーマ③に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。		データをもとに自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion)		
		7週	テーマ③に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。		データをもとに自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion)		
		8週	テーマ③に関するプレゼンテーション(自学自習内容) 発表原稿作成、練習する。		評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。		
	2ndQ	9週	テーマ④に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。		事実と意見を分けて物事をとらえ、議論を行うことができる。(Discussion)		
		10週	テーマ④に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。		事実と意見を分けて物事をとらえ、議論を行うことができる。(Discussion)		
		11週	テーマ④に関するプレゼンテーション(自学自習内容) 発表原稿作成、練習する。		評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。		
		12週	テーマ⑤に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。		様々な立場からディスカッションを行うことができる。(Debate)		

		13週	テーマ⑤に関するディスカッション（自学自習内容） テーマについて調べ学習をする。	様々な立場からディスカッションを行うことができる。 （Debate）
		14週	テーマ⑤に関するプレゼンテーション（自学自習内容） 発表原稿作成、練習する。	評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。
		15週	総合英語Ⅰのまとめ	これまでの内容を踏まえて、ディスカッションを行うことができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		定期試験	課題	合計	
総合評価割合		50	50	100	
分野横断的能力		50	50	100	